

高円宮杯U-15 サッカーリーグ 2013 千葉 実施要項

- 1 趣 旨 (公財)財団法人日本サッカー協会は、日本サッカー界の将来を担うユース(15歳以下)の少年達のサッカー技術の向上と健全な心身の育成を図ることを目的にし、第3種年代の力が拮抗したリーグを各地域で実施することが提案された。その主旨を受け(公社)千葉県サッカー協会では、標記大会を実施することとした。
- 2 名 称 高円宮杯U-15 サッカーリーグ 2013 千葉
- 3 主 催 (公社)千葉県サッカー協会
- 4 主 管 (公社)千葉県サッカー協会第3種委員会
- 5 協 賛 未 定
- 6 期 日

1部リーグ	平成25年 1月(原則)	～	平成25年9月29日(日)
2部リーグ	平成25年 1月(原則)	～	平成25年9月 1日(日)
3部リーグ	平成25年 1月(原則)	～	平成25年7月31日(火)
- 7 会 場 各リーグ所属チームが準備(原則)
- 8 参加資格
 - (1) (公財)日本サッカー協会第3種に登録したチームもしくは準加盟チームであること。
 - (2) 上記(1)のチームに登録された選手であること。ただし、1998年4月2日以降生まれの選手であること。中体連のチームにおいてこの条件を満たせない選手がいた場合は、事務局まで連絡すること。
 - (3) 上記(1)(2)を満たし、リーグ戦の運営が可能な場合は同一チームから複数チームの参加を認める。なお、「運営が可能」とは、帯同審判を含み、複数チームが別会場での試合が可能な場合を指す。指導者の重複は、認められる。
 - (4) 選手数が不足している同種別の複数チームによる「合同チーム」の大会参加については、次の条件を満たしている場合においてのみ認めることとする。但し、11名以上の選手を有するチーム同士の合同は不可とする。
 - ① 合同するチームおよびその選手は、それぞれ(1)および(2)を満たしていること。
 - ② 極端な勝利至上主義を目的とする合同ではないこと
 - ③ 大会参加申し込みの手続きは、それぞれのチームの代表者が協議の上、代表チームが行う。
 - ④ 合同チーム申請書を提出し、(公社)千葉県サッカー協会第3種委員会事務局に提出をして後、承認を得ること。
 - (5) 同一選手が異なるチームへ移籍する場合は、大会事務局の承認を得ること。複数出しチーム間の移籍に関しては、リーグ期間内の受付期間に1度のみ認める。移籍を希望する場合は、受付期間(3/25-31)に新メンバー表を事務局に提出し、新たに受付印を押されたものを4/1以降より使用する。
- 9 参加チーム及び各リーグ構成
 - (1) 1部リーグ12チームのホーム&アウェー方式、2部リーグ35チーム、3部リーグ(昇格希望有・無しグループ)を設ける。
 - (2) 1部→2部・2部→3部の降格チーム数は、関東リーグからの昇降格チーム数で変動する。
 - (3) 2部リーグのそれぞれ1位チーム(計3チーム)と1部降格3チームが自動的に、1部9位1チームと2部2位×3チームの合計4チームの昇降格戦の勝者チームが残留もしくは昇格し、次年度の1部リーグを構成する。
 - (4) 2部リーグのそれぞれ下位3チーム(計9チーム)と3部リーグから9チームが入れ替わり、次年度の2部リーグを構成する。
 - (5) 1部リーグ1位のチームは関東2部リーグ参入戦に参加する。

- (6) 2014年のリーグは、1部リーグ12チームのホーム&アウェー方式、2部リーグ12チーム×3(計36チーム)(2013年関東リーグからの降格数により変動有り)、3部リーグ(昇格希望有・無しグループ)を設ける。2015年リーグ構成に関しては、関東・日本協会の動向を見据えて方向性を考える。

10 競技方法

- (1) 各リーグとも構成する全チームによる総当たりのリーグ戦とする。
(2) 勝ち3点、引き分け1点、負け0点の勝ち点により順位を決定する。尚、勝ち点の合計が同一の場合は以下の項目に従い順位を決定する。
① 当該チーム同士の対戦成績
② 当該チーム同士のゴールディファレンス(得失点)
③ 当該チーム同士の総得点
④ 全試合のゴールディファレンス(得失点)
⑤ 全試合の総得点
⑥ 抽選
(3) 試合時間は1・2部リーグ→70分、3部リーグ→60分とする。
(4) ハーフタイムは原則10分間とする。(前半終了から後半開始まで)
(5) 2部昇格参入戦は、試合時間を60分(30-10-30)とし、試合時間内に勝敗が決しない場合は、5分間の休憩後、20分(10-10)の延長戦を行う。延長戦でも決しない場合は、PK方式により2部昇格チームを決する。

11 競技規則

- (1) 現行の(公財)日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則2012/2013」による。
(2) 各試合とも登録選手全員が出場登録できる。
(3) 選手登録は、所定のメンバー登録用紙に先発の11名に○印と背番号を記入しマッチコーディネーションミーティングの際に全登録選手の選手証とメンバー登録用紙3部を会場本部に提出する。交代選手に関しては、メンバー登録用紙に背番号を記入しなくとも良い。記入をしない場合は、出場する際に明記し、会場本部へ提出のこと。
(4) 交代に関しては、登録した選手の交代要員の中から14名までの交代が認められる。交代の手続きは従来どおりサッカー競技規則第3条にそって行う。(1,2部については「自由な交代」を採用しない)
(5) 選手は登録選手証(写真の添付されたもの)を持参し、試合開始前に本部または審判員が確認をする。不携帯の選手は当該試合への出場を認めない。ただし、年度替わりや追加登録の場合は、(公財)日本サッカー協会Web登録の写し(ステータスの欄が承認済みのもの)を持参すること。
(6) 本リーグにおいて退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できない。違反行為の内容によっては、それ以降の処置を本大会規律・フェアプレー委員会において決定する。
(7) 警告の累積による出場停止試合数は以下のとおりとする。なお、同一試合で2回の警告を受けて退場処分を受けた場合には、その2回の警告は累積に加算しない。
① 1チームの最大試合数が9試合以下の場合
警告の累積が2回に及んだ選手は、次の1試合を出場停止処分とする。
② 1チームの最大試合数が10試合以上19試合以下の場合
警告の累積が3回に及んだ選手は、次の1試合を出場停止処分とする。
③ 1チームの最大試合数が20試合以上の場合
警告の累積が4回に及んだ選手は、次の1試合を出場停止処分とする。
イ) 警告の累積による出場停止を繰り返した場合には、2回目以降については、2試合の出場停止処分とする。
① の競技会では、2回目で1試合、4回目で2試合、6回目で2試合の出場資格停止となる。
② の競技会では、3回目で1試合、6回目で2試合、9回目で2試合の出場資格停止となる。
③ の競技会では、4回目で1試合、8回目で2試合、12回目で2試合の出場資格停止となる。
ロ) 警告の累積による公式試合の出場停止処分は、同一競技会のみ適用されるものとし、他大会に影響しない。

- (8) テクニカルエリアを使用する。テクニカルエリアはベンチ入りのチーム役員の全てが戦術的な指示を出せる場であるが、指示を出せる役員はその都度1名のみとする。
- (9) 試合開始時刻に指導者及び選手7名以上が揃っていないチームは、不戦敗となり相手チームの勝ちとする。その際、不戦敗チームの全ての試合で、最高得点と最高失点の多い方の得点（絶対値）を得点として不戦勝チームに与える。なお、試合当日に何らかの理由で試合が不可能になったチームも同じとする。

12 ユニフォーム

- (1) ユニフォームは（公財）日本サッカー協会に登録されたものを原則とする。
- (2) ユニフォームの広告表示については、日本サッカー協会『ユニフォーム規定』に基づき、日本サッカー協会資格委員会において承認された場合のみこれを認める。ただし、日本中学校体育連盟加盟チームは、日本中学校体育連盟の規定によりこれを認めない。
- (3) ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ストッキング）は、正の他に副として、正と異なる色のユニフォームをメンバー登録用紙に記載し、必ず携行すること。
- (4) 審判と同一または類似の上衣を用いることはできない。ゴールキーパーについても同様である。
- (5) シャツの前面・背面に必ずメンバー表に登録された番号をつける。大きさは縦25cm程度、横はこれに比例して適当な大きさを、番号は見やすいものとする。

13 参加費等

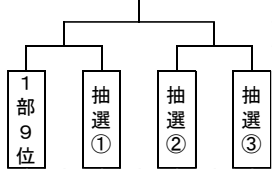
- (1) 1・2部リーグに関しては、参加費3,000円を監督者会議の席で徴収する。3部リーグにおいては、各ブロックの定めるところとする。
- (2) 1部リーグにおいては、県審判委員会に審判員を派遣依頼するため、審判代として1チーム3,000円を試合ごとに徴収する。
- (3) 2・3部リーグでは相互審判を基本とするため、原則として審判費は徴収しないが、1部昇降格戦・2部参入戦においては、1チーム3,000円を徴収する。

14 大会日程

- (1) 大会運営は各リーグで担当（会場確保・日程調整等）し、原則2試合セットで、「県リーグ優先日」を中心に進める。但し、やむを得ない理由の場合は、1試合開催を認める。
- (2) 1部リーグにおける審判は基本的に県審判委員会に依頼する。
2・3部リーグにおいては、1試合目の試合を2試合目のチーム、2試合目の試合を1試合目のチームが審判を担当する。1チーム2名の審判を帯同することを原則とする。（主審・副審・本部。役割はチーム間で相談の上決定する。）審判服は必ず着用することとする。
1試合開催の審判に関しては、以下の優先順位で行う。
2部に関しては、
 - ①3者でのレフリー（3審共）。
 - ②第3者での主審とチーム関係者（大人）による副審（1名ずつ）
 - ③チーム関係者（大人）による主審・副審（1名ずつ）3部に関しては、さらに
 - ④チーム関係者（大人）による主審、選手による副審（1名ずつ）
- (3) 1部昇降格戦・2部参入戦の審判については、県審判委員会（主審・副審）に依頼する。
- (4) 日程は期日までに必ず消化させる事。全日程消化出来なかったチームの結果は全て抹消する。ただし、自チームだけの問題で無い場合も有りうるので、その場合は3種役員で事情聴取を行い対応する。

15 その他

- (1) 大会規定に違反、その他不都合があった時は、チームの出場を停止する。
- (2) ベンチ入りできる人数は登録されたスタッフ・選手とし、それ以外の者は、ピッチレベルに入ることはできない。
- (3) 試合会場では係の指示に従い、サッカー関係者としてのマナーを十分心がける。また、ベンチ内は禁煙とするとともに、軽装で入ることのないように注意する。
- (4) 複数チームに関しては、リーグ戦開始までにメンバー表を大会事務局に提出し、承認印の押されたものを毎試合使用する。

- (5) 大会実施委員会内部に規律・フェアプレー委員会を組織し、委員長は大会委員長が兼任する。規律・フェアプレー委員会の委員人選については委員長に一任する。
- (6) 試合前に、マッチコーディネーションミーティングを開催し、メンバー登録用紙の提出（3部）、両チームのユニフォームの決定、諸注意事項等の説明を行う。
- (7) 交代用紙は各チームで準備すること。
- (8) 各チームは会場における「競技場確認事項」を遵守し、運営委員の指示に従って行動すること。
- (9) 1部昇降格戦は、関東リーグ参入戦後に行う（12月予定）。
2部参入戦（18チーム）は、平成25年11月30日（土）に行う。対象学年は、2年生（次年度の3年生）組合せについては、後日抽選会を実施する。
- 1部・2部昇格戦【ノックアウト2日間】
1部9位チームと2部2位×3チームの合計4チーム。
開催期間：関東リーグ参入戦後に行う（12月予定）
対象学年：2年生（次年度の3年生）
対戦方法：1部9位は固定で、残りは抽選。
- 
- (10) 不測の事態があった場合は、3種役員会で検討し決済する。
- (11) 試合結果については、試合終了後、速やかに当該試合の会場責任者が、下記事務局に送信すること。（2カ所に送信のこと）

【大会事務局】	大西 理仁（FCリベレオ）
1部リーグ担当	相馬 慎吾（ACカラクテル）
2部リーグ担当	鈴木 康暢（FC稲毛）
3部1ブロック担当	下山 大輔（太田中学校）
3部2ブロック担当	西川 和伸（Isumi Futuro）
3部3ブロック担当	稗田 充（東金中学校）
3部4ブロック担当	谷野 研（臼井南中学校）
3部5ブロック担当	毛利 修治（葛城中学校）
3部6ブロック担当	本田 貴宏（VIVAIO 船橋 SC）
3部7ブロック担当	樋口 勝一（柏レイソルA ATOR' 82）
3部8ブロック担当	柴田 義昭（ブリエッタ FC）